2026年10月 一宮市国民健康保険運営協議会会議録

１　開催日時　2026年10月8日（木）午後２時から午後３時

２　開催場所　一宮市保健所　４階　401・402会議室

３　議　　題

１　国民健康保険事業運営状況について

２　保健事業について

３　第３期 一宮市国民健康保険データヘルス計画 中間評価について

４　その他

４　公開・非公開の別

公開

５　出席委員

＊被保険者代表

河野ますみ、大野弥生、セーヌ尚子、酒井典子、菱川ひろ美、浅井芳俊

＊保険医・薬剤師代表

清水智雄、髙御堂祥一郎、青山圭一、小川勝人、井谷政義

＊公益代表

井田吉彦、京極ふみか、加藤亘、加藤寛之、志水清和

６　欠席委員

加藤伸一、中村憲昭

７　一宮市出席者

＊中野市長

＊市民健康部長　以下８人

８　傍聴者

０人

９　会議内容

永田専任課長：　開会

・出席委員数が定足数を満たしていることを確認

・協議会概要説明（録音承認、内容公開、開催時間１時間程度）

加藤亘会長：　会長あいさつ

・新たに３名の委員が就任。

・本日は 2025 年度決算についての審議、保健事業の報告、第３期一宮市国保データヘルス計画中間評価(案)について、事務局から状況説明を予定している。

中 野 市 長：　市長あいさつ

・今回会場の保健所は築１年程度。以前の保健所と比較して機器、設備が最新のものになっている。

・市でも熱中症対応などで部署間の連携が効果的な事例があった。本日の協議会も様々なバックグラウンドの方に参加いただいており、忌憚のないご意見を賜ることで有意義な協議会としたい。

加藤亘会長：　議事進行を着座にて進行。

・会議録の署名者を指名（セーヌ尚子 委員、清水智雄 委員）

加藤亘会長：　議題１「国民健康保険事業運営状況について」

事務局からの説明を依頼。

青 井 課 長：　国民健康保険事業運営状況について説明。

「１.国民健康保険事業特別会計の決算・予算」を説明。

・被保険者の減少に伴い、歳入・歳出とも減少傾向にある。

「２.決算額（歳入歳出差引額）・単年度収支の推移」を説明。

・適正な保険税率とした結果、単年度収支が黒字回復となった。

「３. 被保険者数等の推移」を説明。

・2025 年度で団塊世代は 75 歳以上となったが、国保の加入世代より後期への移行世代が多いため、今後も減少傾向が続く想定。

「４.保険給付費」及び「５.国民健康保険事業費納付金」を説明。

・総額は減少傾向だが１人あたりでは増加傾向となっている。

「６.保険税率の推移」を説明。

・2026 年度から『子ども・子育て支援納付金分』が追加された。

「７.保険税課税額の推移」及び「８.保険税収納率の推移」を説明。

・主な歳入である保険税の調定額・収納率推移について説明。

「９.保険税 所得別世帯の状況」を説明。

・所得割がかからない、所得の無い世帯が大きな割合を占める。

・所得が高い世帯への滞納対策として、2026 年度から高額滞納世帯に、医療給付を制限する『特別療養費制度』を開始。

「10.保険税 法定軽減・条例減免の状況」を説明。

・現状、半分以上の世帯が軽減の対象となっている。

「11.年齢別被保険者数」を説明。

・高齢者の加入者が多い。

・そのため、医療機関受診が多く、医療費が高額となっている。

「12.国保加入世帯の世帯主の職業」を説明。

・近年は無職や年金生活者が一番多く加入している。

以上より、一宮市国民健康保険を取り巻く状況は大変厳しいが、今後も健全な運営に努めていく。

加藤亘会長：　事務局からの説明についての意見・質問の確認。

〔意見・質問者　なし〕

加藤亘会長：　議題２「保健事業について」

事務局からの説明を依頼。

永田専任課長：　保健事業について説明。

「１　特定健康診査事業」を説明。

・特定健診受診率は４年続けて減少となった。

・国や県と比較すると 60 歳以上の受診率は高いが 40,50 歳代の受診率が低い。

・未受診者及び受診中断者へのカラーＡ４受診勧奨通知に加え、若年層未受診者へ受診勧奨案内はがき送付を開始。

「２　特定保健指導事業」を説明。

・特定保健指導実施率は３年続けて増加となった。

・初回面接日時を指定し、個人の健診データを印字した受診勧奨通知の送付を開始。

・今年度(2026)から、特定保健指導を行う保健師が国保専任となった。

引き続き、実施率向上に向けた取組を検討していく。

「３　糖尿病性腎症重症化予防事業」を説明。

・今年度(2026)から、国や県の改訂された新プログラムで事業を実施。

・2026.4 に名古屋大学医学部附属病院、株)PREVENT との産学官連携協定を締結し、慢性腎臓病(CKD：Chronic Kidney Disease)疑い約 800 名に受診勧奨通知を送付。

今後は、受診勧奨による行動変容について名古屋大学で分析・研究が行われる予定。

「４　重複・頻回受診者訪問指導事業」を説明。

・対象者宅へ事務職員と保健師の２名で訪問を実施。

「５　人間ドック事業」を説明。

・人間ドック受診率は減少に転じた。

・受診率向上の取組として、受診勧奨通知の対象節目年齢を追加し、申込完全電子化による定員到達後のキャンセル対応を開始したが、定員と受診者数の乖離は抑制できなかった。

「６　自己採血検査事業」を説明。

・自己採血検査実施率は前年度から３ポイント増加した。

・オンラインでの受診相談を開始した。

・委託業者が事業撤退し、今年度(2026)から委託内容が一部変更。

加藤亘会長：　事務局からの説明についての意見・質問の確認。

委　　員：　「４　重複・頻回受診者訪問指導事業」において、対象をどのように抽出しているのか。

永田専任課長：　抽出は、国保情報データベースのレセプトデータを用いている。
レセプト内容のみでは詳細が分からないため、訪問面談することで、必要な重複受診の場合もある。
（精密検査･手術･リハビリ等目的のために複数病院を受診した 等）

委　　員：　同じ病名で複数の病院に受診するとすべて対象となるのか。
経験者により、ある程度除外しているのか。

永田専任課長：　お見込みのとおり除外している。抽出時点の対象者は更に多い。

加藤亘会長：　議題３「第3期一宮市国民健康保険データヘルス計画中間評価について」事務局からの説明を依頼。

永田専任課長：　データヘルス計画と中間評価内容について説明。

「データヘルス計画」を説明。

・第３期データヘルス計画は 2024(R6)-2029(R11)の６年間。

・中間年度である 2026(R8)年度に中間評価を実施する。

・一部の評価は未確定。今後は、支援評価委員会の助言を受け、次回の国保運営協議会で最終案を示す予定。

・併せて、第４期一宮市特定健康診査等実施計画の中間評価も実施する。

「評価事業」を説明。

・計画策定時に策定した 13 の個別保健事業のうち、国保連合会指定の主要３事業(特定健康診査事業・特定保健指導事業・糖尿病重症化予防事業)、及び計画策定時から評価内容等を

変更した２事業(自己採血検査事業・健康アプリ事業)について、中間評価を実施する。

「補足資料（各事業)」を説明。

・特定健康診査事業については、目標未達成の指標があるため、事業見直し内容を記載。

・特定保健指導事業と糖尿病重症化予防事業については、評価が「目標達成」及び「計画策定時から改善」のため、事業見直し内容は不要。

・自己採血検査事業については、評価指標の対象を変更。

・健康アプリ事業については、評価対象のアプリを変更。

加藤亘会長：　事務局からの説明についての意見・質問の確認。

中 野 市 長：　「健康アプリ事業」において、なぜ６年度の実績がマイナスの値になっているのか。

永田専任課長：　評価指標は、利用者数やアプリ導入の「増加率」であり、年度途中から新アプリ(kencom)が導入された 2024(R6)年度は、旧アプリの利用者数や導入率は前年度と比較すると減少したため、「増加率」という評価指標ではマイナスの値となった。

中 野 市 長：　健康マイレージアプリと健康支援アプリ(kencom)では、アウトカム指標の比較方法が異なるのか。

永田専任課長：　当初は健康マイレージアプリと同様に、健康支援アプリ(kencom)の「増加率」を指標に検討したが、年度途中(9 月)からの導入であり、年度間比較が困難であったため、「利用者数」を指標とした。

加藤亘会長：　他の意見等の確認。

〔意見・質問者　なし〕

加藤亘会長：　その他連絡事項

事務局に確認。

永田専任課長：　業務連絡

【午後３時 終了】

会議録署名

会　長

加藤　亘

委　員

セーヌ 尚子

委　員

清水 智雄